

<報道発表資料>

令和7年 5月30日

第19回「塙保己一賞」表彰候補者の募集を開始します

埼玉県では、本県出身の江戸時代後期の全盲の学者「塙 保己一」にちなみ、障害がありながらも社会的な活躍をしている方、障害のある方に対する支援等に貢献している方・団体を表彰しています。

平成19年度に創設し、これまでの18年間で57人12団体を表彰しました。

今年度で第19回目となる塙保己一賞表彰候補者の募集を開始します。

1 賞の種類と対象者

(1) 大賞（対象者：障害者本人）

日本国内に在住し活動する方で、社会的に顕著な活躍をしてきた方

(2) 奨励賞（対象者：障害者本人）

日本国内に在住し活動する方で、今後さらに社会的な活躍が期待される60歳未満（令和7年4月1日現在）の方

(3) 貢献賞（対象者：障害者の支援者、貢献者 ※障害の有無は問いません）

日本国内に在住し活動する個人・団体で、社会的に顕著な支援活動等を行ってきた個人・団体

（注）各賞とも、視覚障害以外の障害のある方も御応募いただけます。

2 応募方法

候補者調書及び推薦書に必要事項を記入の上、応募してください。

応募方法についての詳細は、次のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0604/hanawa/10bosyu.html>

3 募集期間

令和7年6月1日（日）から8月31日（日）まで （当日消印有効）

4 選考方法

埧保己一賞選考委員会における選考を経て、知事が決定します。

5 表彰

令和7年12月20日（土）に表彰式を開催する予定です。
受賞者には、表彰状と記念品を贈呈します。

6 主催等

主催 埼玉県
共催 本庄市、埼玉県教育委員会
後援 厚生労働省、文部科学省、公益社団法人温故学会、
社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会、
社会福祉法人日本視覚障害者団体連合、
社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会、
特定非営利活動法人埼玉県障害者協議会

（参考）埧保己一

1746年、現在の本庄市に生まれる。江戸時代後期に活躍した全盲の学者。
全盲でありながら我が国の貴重な文献を収集、編纂した「群書類従」を出版するとともに、国学の研究の場として「和学講談所」を創設し多くの有能な弟子を育成した。
1821年2月、盲人社会の最高位である総検校につき、同年9月に生涯を閉じる。